



2017 年 4 月 14 日

早稲田大学

早大・北京大・高麗大が共同で「平和をつくるプロフェッショナル」を育成

元国連事務総長特別代表・長谷川祐弘氏を招いて国際シンポ開催

早稲田大学（鎌田薫総長）は **4 月 20 日（木）**、新宿区の早稲田大学大隈記念講堂にて「平和をつくるプロフェッショナル 東アジア発『紛争解決』の可能性 CAMPUS Asia キックオフシンポジウム」を開催いたします。

このシンポジウムでは、基調講演に元国連事務総長特別代表・東ティモール担当の長谷川祐弘氏をお迎えします。平和構築の第一線での貴重な経験を踏まえて、「平和をつくるプロフェッショナル」の育成の重要性、東アジア発の平和構築の可能性、そして学生への期待について語っていただきます。また、早稲田大学・北京大学・高麗大学校の代表者が、それぞれ異なる角度から、「平和をつくるプロフェッショナル」と「紛争解決」について講演します。

ご多用のこととは存じますが、ぜひこの機会にご取材賜りたく、ご案内申し上げます。ご取材をご希望の場合、**4 月 18 日（火）正午まで**にメールにてお知らせください。

CAMPUS Asia について

早稲田大学、北京大学および高麗大学校のコンソーシアムは、文部科学省の「平成 28 年度大学の世界展開力強化事業」の「タイプ A-②」に採択されました。「タイプ A」の事業は「キャンパス・アジア（CA）事業の推進」、「②」は「新たに CA に取り組むもの」の種別です。キャンパス・アジア事業は、アジア地域全体を「学びのキャンパス」と捉え、質の高い国際共同教育プログラムを実施する大学間交流の枠組です。本学等の事業名は、「多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム」です。計画調書および個別審査結果については、日本学術振興会のページ <http://bit.ly/2LJZJKJ2> をご参照下さい。

「多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム」について

早稲田大学・北京大学・高麗大学校が連携し、ダブルディグリープログラムやサマースクールなどの共同カリキュラムの開発・運営を行い、これらの事業を通して、次世代リーダーを共同で育成する意欲的な計画です。日中韓の 3 大学の学生が共に学ぶことで、社会変革力・相互理解力・調査分析力・実践応用力を兼ね備えた人材として成長し、東アジアのみならず、広く世界で活躍することが期待されます。プロモーション動画等は、<http://bit.ly/CAWASEDA> からご覧ください。



イベント概要

- ◆ 日時：2017 年 **4 月 20 日（木）** 13:30-16:45
- ◆ 会場：早稲田大学 大隈記念講堂 小講堂（東京都新宿区）
- ◆ 言語：英語（日英同時通訳あり）
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 参加対象：学生、大学院生、教職員、一般
- ◆ 主催：早稲田大学
- ◆ 共催：北京大学・高麗大学校

プログラム

- ◆ 開会挨拶 **鎌田薫（早稲田大学 総長）**
- ◆ 来賓挨拶 **岩淵秀樹（文部科学省 高等教育局国際企画室長）**
- ◆ 基調講演 「Professionals for Peace Possibilities for Conflict Resolution: A view from East Asia」 **長谷川祐弘（元国連事務総長特別代表 東ティモール担当）**
- ◆ 講演 1（早稲田大学）「Who are peacebuilders? Why you gotta join them, and how?」
上杉勇司（早稲田大学 国際学術院教授）
- ◆ 講演 2（北京大学）「紛争予防装置としての大学教育」 **白智立（北京大学 政府管理学院副教授）**
- ◆ 講演 3（高麗大学校）「Economic development and social innovation in Asia」 **Sung Jin Kang（高麗大学校 経済学科教授）**
- ◆ 閉会挨拶 **梅森直之（早稲田大学 政治経済学術院教授）**
- ◆ シンポジウム司会 **小山淑子（早稲田大学 留学センター講師）**

ご取材のお申し込み

（メール送信先：campusasia-office@list.waseda.jp）

下欄の情報について、メールにて **4 月 18 日（火）正午**までにご連絡下さい。

- ◆ 貴社名／部署名：
- ◆ お名前：
- ◆ メール：
- ◆ 電話番号：
- ◆ 取材方法：ペン／スチール撮影／動画撮影 等

平和をつくるプロフェッショナル

東アジア発『紛争解決』の可能性
CAMPUS Asia キックオフシンポジウム at 早稲田大学

Professionals for Peace Possibilities for Conflict Resolution: The View from East Asia CAMPUS Asia Kickoff Symposium at Waseda University

2017.4.20 thu 13:30-16:45

参加料
Admission

無料
Free

使用言語
Language

英語（日英同時通訳）

English (Simultaneous English-Japanese Interpretation Available)

会場：大隈小講堂 (300 席)

Venue: Okuma Small Auditorium (Capacity: 300 seats)

対象者：学生、教職員、一般

Audience: Students, faculty, staff and general public

主催：早稲田大学

Organizer: Waseda University

共催：北京大学・高麗大学校

Co-organizers: Peking University & Korea University

CAMPUS Asiaとは、紛争解決と社会変革に情熱とスキルをもった次世代アジアのリーダーを、早稲田大学と高麗大学校と北京大学が協力して育成しようとする画期的なプログラムです。このたび、そのキックオフシンポジウムを、長谷川祐弘 元国連事務総長特別代表を基調講演者としてお招きして開催します。高麗大学校、北京大学からも講演者をお招きし、東アジアと世界の未来を、皆さんとともに考えていきたいと思います。「何か世界に貢献したい…」「でもなにからはじめてよいかわからない…」CAMPUS Asiaは、そんな皆さんのためのプログラムです。

CAMPUS Asia is a ground-breaking program, through which Waseda University, Korea University and Peking University collaborate to develop passionate Asian leaders for the next generation with conflict resolution and social innovation skills. In celebration of this occasion, we will hold a kickoff symposium with the former Special Representative of the Secretary-General of the United Nations, Dr. Sukehiro Hasegawa as a keynote speaker. With honored guest speakers from Korea University and Peking University, we take this opportunity to consider the future of East Asia as well as global issues, together with the audience. If you would like to contribute to the world, but don't know where to begin, CAMPUS Asia is a great place to start to explore your options.

スケジュール (変更可能性有) Schedule (Subject to change)

13:30-13:40	1 開会挨拶：早稲田大学総長 鎌田薫	Introductory Speech: Kaoru Kamata, President of Waseda University
13:40-13:50	2 文部科学省代表者挨拶	Opening Remarks: Representative of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
13:50-14:50	3 基調講演 (質疑応答含む) : 元国連事務総長特別代表 (東ティモール担当) 長谷川祐弘	Keynote Speech: *Includes Q&A session Sukehiro Hasegawa, former Special Representative of the Secretary-General of the United Nations (Timor-Leste)
14:50-15:05	休憩 (15 分)	Break (15 minutes)
15:05-15:25	4 セッション ・講演者 1: 早稲田大学 国際学術院教授 上杉勇司	Session Speaker 1: Yuji Uesugi, Professor of the Faculty of International Research and Education, Waseda University
15:25-15:45	・講演者 2: 北京大学 (未定)	Speaker 2: Peking University (TBA)
15:45-16:05	・講演者 3: 高麗大学校 経済学科教授 Sung Jin Kang	Speaker 3: Sung Jin Kang, Professor of the Department of Economics, Korea University
16:05-16:35	・質疑応答	Q&A session
16:35-16:45	5 閉会挨拶 : 早稲田大学 政治経済学術院教授・ CAMPUS-Asia 事業推進代表者 梅森直之	Closing Speech: Naoyuki Umemori, Professor of the Faculty of Political Science and Economics, Waseda University / Program Director of CAMPUS-Asia, Waseda University
17:00-18:30	6 懇親会 学生の参加を歓迎します 早稲田キャンパス22号館3F Waseda International Learning Lounge (WILL)	Reception Students are welcome Waseda International Learning Lounge (WILL), 3rd Floor of Waseda Campus Building No. 22
キックオフシンポジウム司会 : 早稲田大学 留学センター講師 小山淑子		MC for Kickoff Symposium: Shukuko Koyama, Assistant Professor of Center for International Education, Waseda University

プログラム
Program

平成28年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」CAMPUS Asia (East Asian Global Leadership Program for Multi-layered Conflict Resolution and Social Innovation) なおプログラムの詳細については、以下Websiteをご覧ください。

Inter-university Exchange Project 2017 hosted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology: CAMPUS Asia (East Asian Global Leadership Program for Multi-layered Conflict Resolution and Social Innovation) Please visit the official website below for more information about the program.
[問い合わせ Contact] E-mail: campusasia-office@list.waseda.jp

Website: www.waseda.jp/top/about/activities/campus_asia (日本語)

www.waseda.jp/top/en/about/activities/campus_asia (English)

シンポジウムの概要

2017 年 4 月 20 日、早稲田大学にて中国・北京大学、韓国・高麗大学校との共催で「紛争解決学」をテーマにしたシンポジウムが開催されます。

「平和をつくるプロフェッショナル 東アジア発『紛争解決の可能性』」と題された本シンポジウムは、日中韓 3 国による連携プロジェクトである「Campus Asia」のスキームにおいて、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された、三大学による「平和をつくるプロフェッショナル」共同育成プログラムのキックオフシンポジウムと位置づけられています。

早稲田大学は歴史的に中国、韓国とのつながりが深く、東京専門学校（1882 年）からわずか 2 年後（1884 年）に朝鮮籍の学生を受け入れ、さらにその 5 年後（1889 年）には清（しん）国留学生を受け入れています（参考：http://www.yomiuri.co.jp/adv/wol/opinion/culture_150413.html）。また高麗大学校とは 1973 年に、北京大学とは 1982 年にそれぞれ学術交流協定を締結し、以来濃密な交流を続けています。このような歴史的つながりを持つ早稲田・北京・高麗という日中韓のトップクラスの 3 大学が英知を結集し、紛争解決のための人材育成に共同で取り組む本プログラム。欧米では「紛争解決学」がひとつの学問分野として確立されており、専門的な研究・教育が進められています。しかし日本をはじめとするアジアにおいては、国際関係学や国際政治学といった分野の一領域として扱われ、集中的に学ぶことのできる場が限られている、というのが現状です。また、欧米とアジアではそれぞれの抱える状況が異なるため、欧米におけるそれとはやや異なったアプローチや手法が求められます。複合的かつ特有の紛争要因を抱える東アジアにおいて、東アジア発の「紛争解決」人材育成への取り組みは、学問・教育上のみならず、社会的・国際的にも意義あるものです。

シンポジウム当日は、国連機関等で紛争・災害における危機対応や復興支援の活動に従事した小山淑子早稲田大学留学センター講師が司会を務め、鎌田薫早稲田大学総長の開会あいさつ、岩渕秀樹文部科学省高等教育国際企画室長による来賓あいさつの後、数多くの紛争地域にて高度な平和構築活動に携わった長谷川祐弘元国連事務総長特別代表（東ティモール担当）による基調講演が予定されています。続いて、三大学の研究者による講演が行われ、早稲田大学から上杉勇司国際学術院教授、北京大学から白智立政府管理学院副教授、高麗大学校から姜晟振経済学科教授が登壇。それぞれの研究分野である紛争解決学、行政学、開発経済学の観点から議論します。

このシンポジウムには、紛争解決や平和構築活動のスペシャリストを目指す、さまざまなバックグラウンドを持った学生たちが参加する予定です。